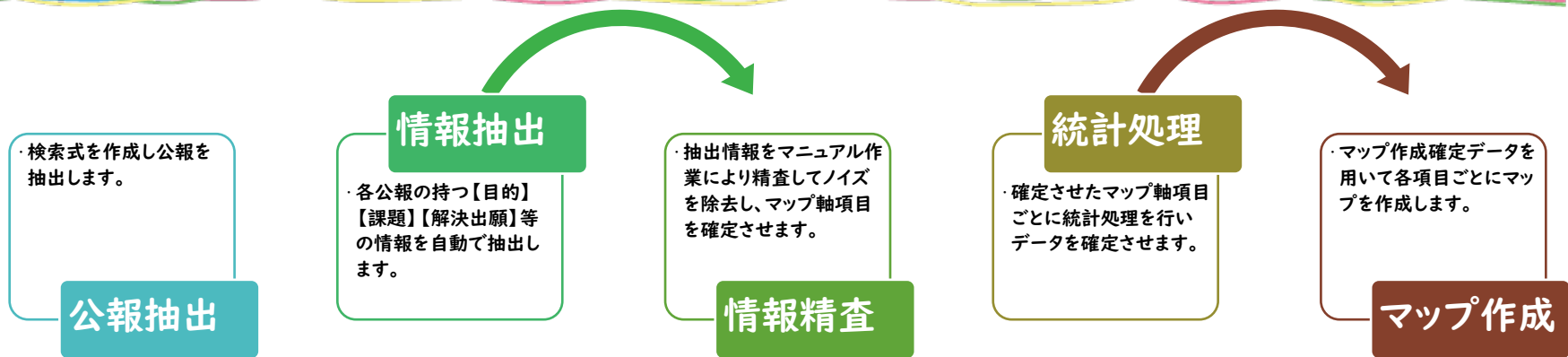


ODIS-Webによるパテントマップのご紹介(ノイズ除去)



検索式を作成し公報を抽出します。

公報抽出

情報抽出

各公報の持つ【目的】【課題】【解決出願】等の情報を自動で抽出します。

抽出情報をマニュアル作業により精査してノイズを除去し、マップ軸項目を確定させます。

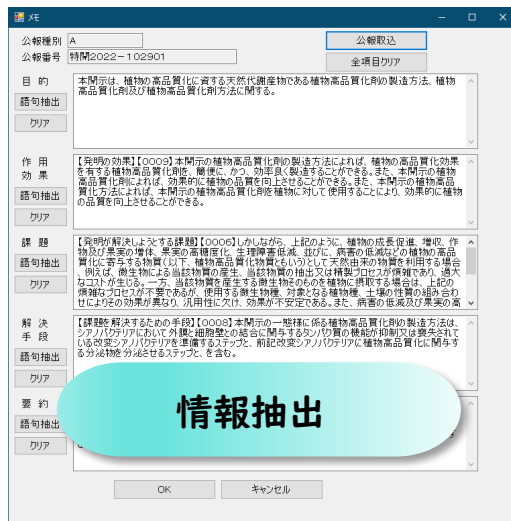
情報精査

統計処理

確定させたマップ軸項目ごとに統計処理を行いデータを確定させます。

マップ作成確定データを用いて各項目ごとにマップを作成します。

マップ作成



情報抽出



情報精査



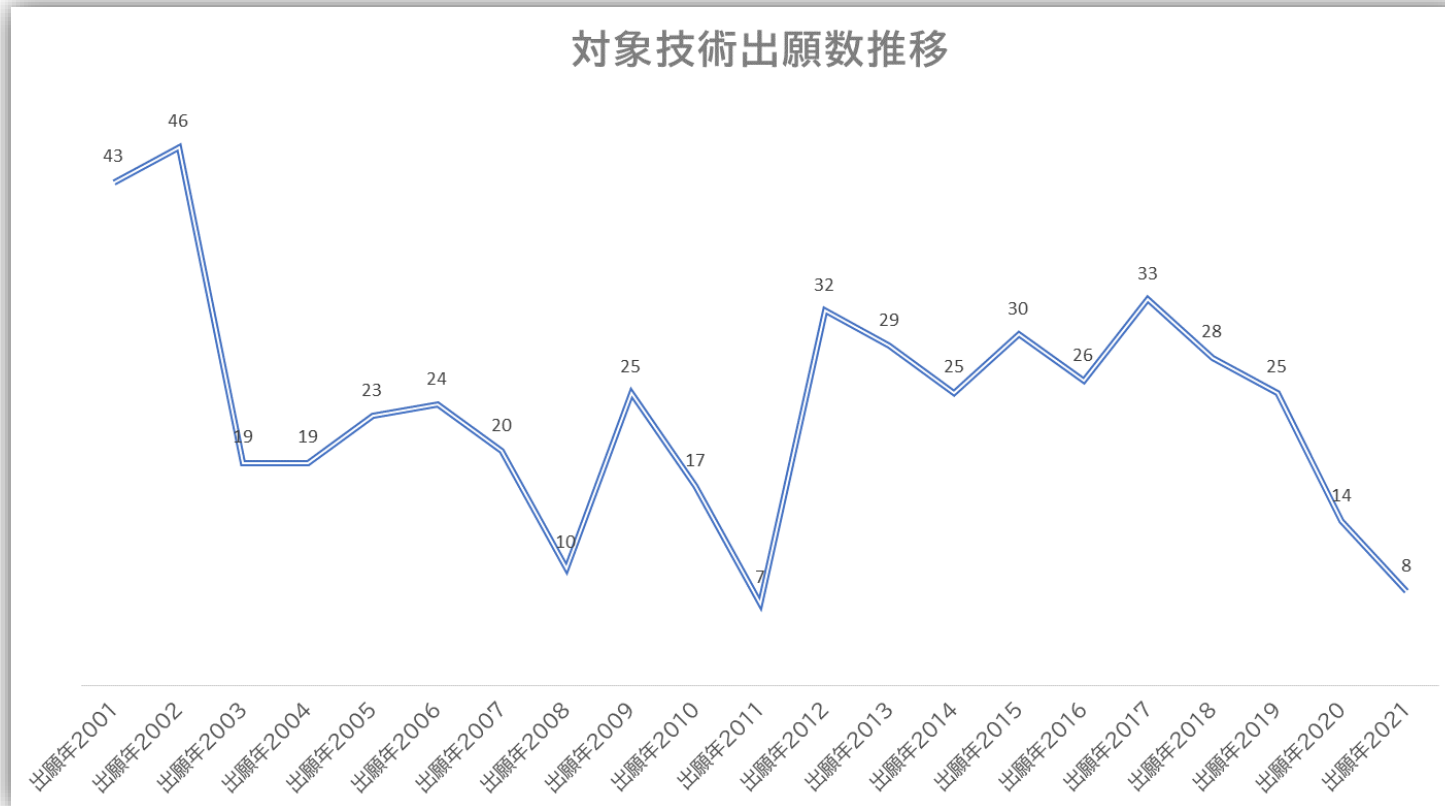
統計処理



作成マップ例①

- 対象技術出願数推移

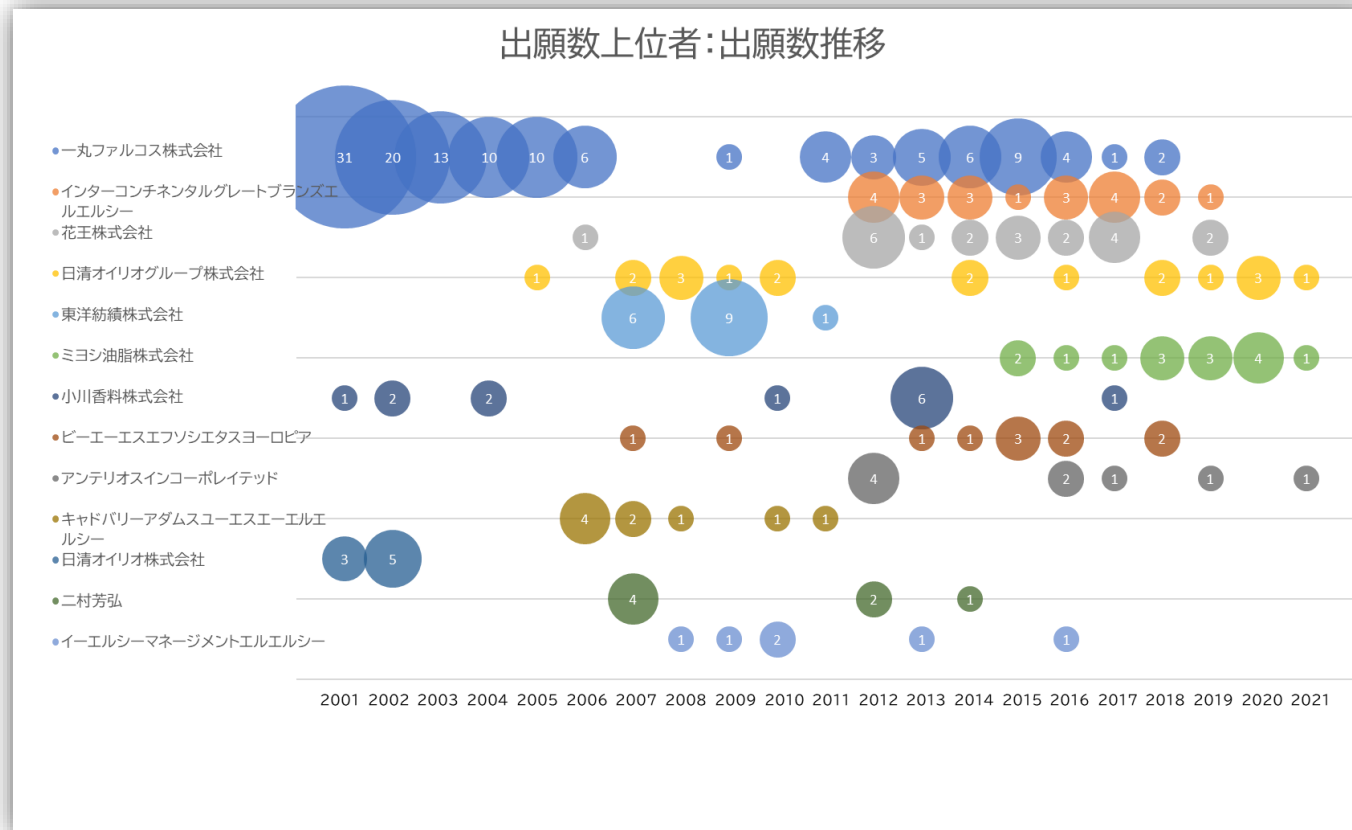
対象技術全体の出願数推移をみることで、その技術の「成長期-発展期-成熟期-衰退期」といった研究開発状態を読み取ることができる。



作成マップ例②

- 出願数上位出願人

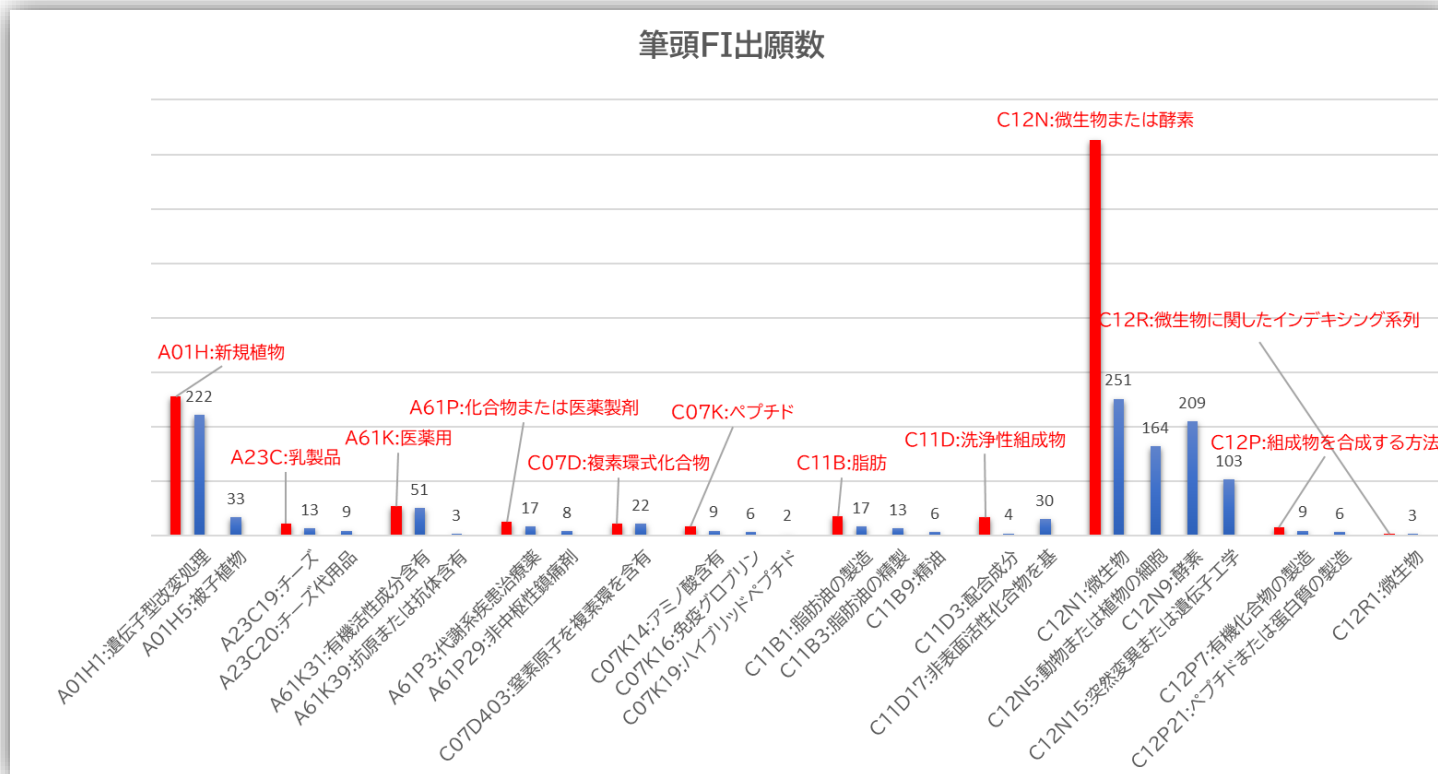
出願数推移では各出願者の出願数の年毎の増減をみることで、出願絶対数だけでは読み切れない近年出願数を増やしている新規注目プレイヤーを見つけることができる。



作成マップ例③

- 筆頭 FI 出願数分布

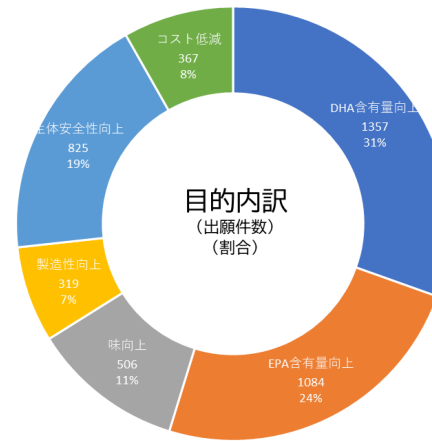
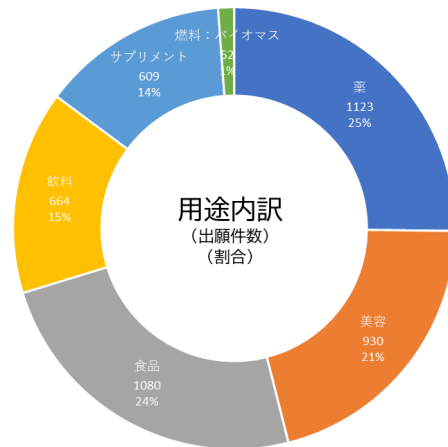
筆頭 FI の出願数、またはその FI の下位グループの出願数内訳をみることで、その出願公報の技術的アプローチの最も近いところの指標を読み取ることができる。



作成マップ例④

- 「用途」「目的」内訳

対象技術の「用途」および「目的」の内訳をみることにより、それぞれの出願が想定している「用途」および「目的」の各内訳への出願割合がわかる。



作成マップ例⑤

- 「用途」×「目的」出願数分布

「用途」×「目的」の出願数分布図を見ることで、出願数が多く競争が激しい部分と、競争が少なく特許出願につながるような技術開発が進んでいない部分とを読み取ることができ、新規開発の際の出願方向性の参考とすることができる。

